

## 本町における地域公共交通の現況について

■ 令和3年5月末時点

## 1 概要

## (1) 名鉄バス

## ① 西春・空港線（西春駅⇔名古屋空港）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後10時台	36往復 ※4便*	30分間隔 (昼間時)	100円～350円
土・休日		31.5往復		

※朝2便、夕方2便の西春～名古屋空港間のノンストップ便

※5月15日から緊急事態宣言の解除日まで、始発地を21時30分以降に発車する便を運休

## ② 県営名古屋空港線（名鉄バスセンター⇔栄⇔名古屋空港・あいち航空ミュージアム）

時間帯	本数	運行間隔	運賃
午前6時台～午後5時台	名駅発4便 空港発3便	1便／2～4時間	600円～700円

## (2) あおい交通

## ① 名古屋空港直行バス（名古屋駅前⇔県営名古屋空港）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後10時台	45便** <sup>1</sup>	2～4便／時間	100円～700円
土・休日		42便** <sup>2</sup>	1～3便／時間	
		9便** <sup>3</sup>	1～3便／時間	

本数※1：名古屋駅→あいち航空ミュージアム（エアポートウォーク北）、うち8便は勝川駅行

※2：名古屋空港→名古屋駅

※3：あいち航空ミュージアム（エアポートウォーク北）→名古屋駅

## ② 名古屋空港直行バス（栄⇔愛知県庁前⇔あいち航空ミュージアム（エアポートウォーク北））

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前8時台～午後4時台	3往復	1～4時間に	600円～700円
土・休日			1便程度 (昼間時)	

本数※あいち航空ミュージアム（エアポートウォーク北）発便は栄→愛知県庁前

③ 幸田・勝川線（豊山幸田⇄勝川駅前）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後10時台	22便 <sup>※1</sup>	1～3便/時間	100円～300円
土・休日		16便 <sup>※2</sup>		
		5便 <sup>※3</sup>		

本数※1：豊山幸田・名古屋空港→勝川駅、うち土・休日は4便減

※2：勝川駅→豊山幸田・名古屋空港、うち土・休日は3便減

※3：勝川駅→名古屋空港・エアポートウォーク北

(3) とよやまタウンバス

① 北ルート（小牧市役所前⇄北部市場東）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前7時台～午後8時台	8便	1便/時間	100円～300円
土・休日	午前9時台～午後4時台	4便	1便/時間	

② 南ルート（航空館boon⇄名古屋栄）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後10時台	14往復	1便/時間	100円～500円
土・休日	午前9時台～午後6時台	8往復	1便/時間	

(4) 名古屋市営バス

① 黒川11号系統（黒川⇄北部市場）

	時間帯	本数	運行間隔	運賃
平日	午前6時台～午後8時台	14便 <sup>※1</sup>	1～2時間に 1便程度 (昼間時)	均一制 210円
		11便 <sup>※2</sup>		
土曜日	午前6時台～午後7時台	10便		
休日	午前7時台～午後7時台	9便		

本数※1：黒川→北部市場、※2：北部市場→黒川

## 2 利用者数

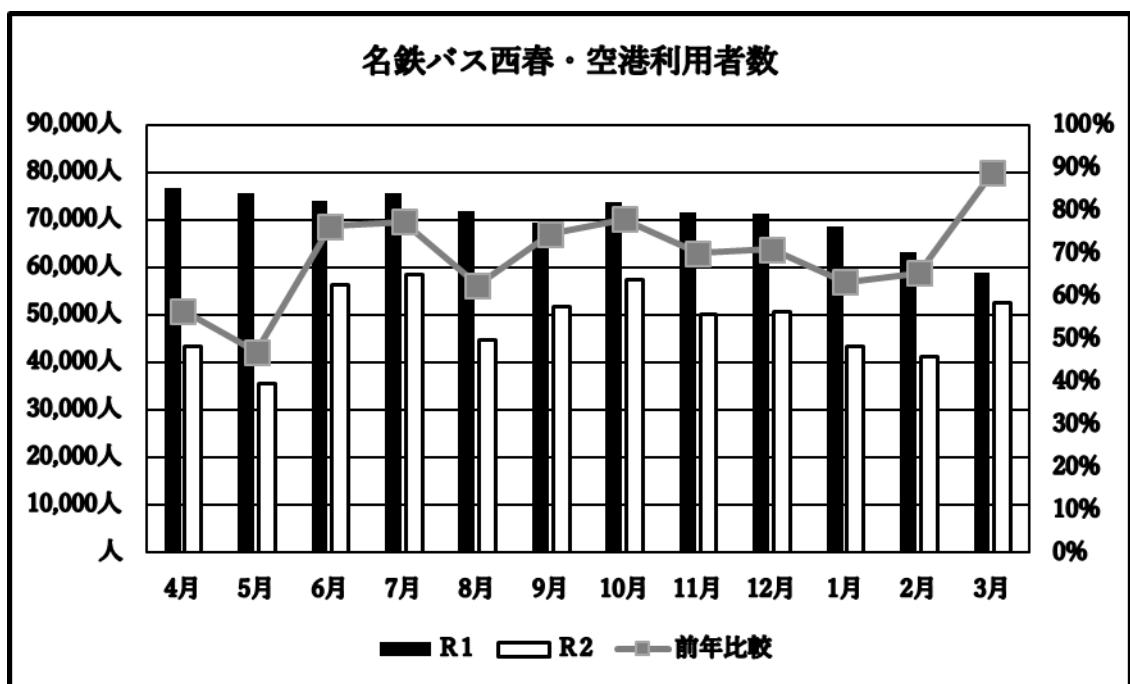
### (1) 名鉄バス

#### ① 西春・空港線

感染第1波の時期とされている令和2年5月は前年比47%と最も低く、約36,000人となっている。

また、6月以降利用者の回復傾向にあったが、第2波の時期とされている令和2年8月には前年比63%の約45,000人となっている。

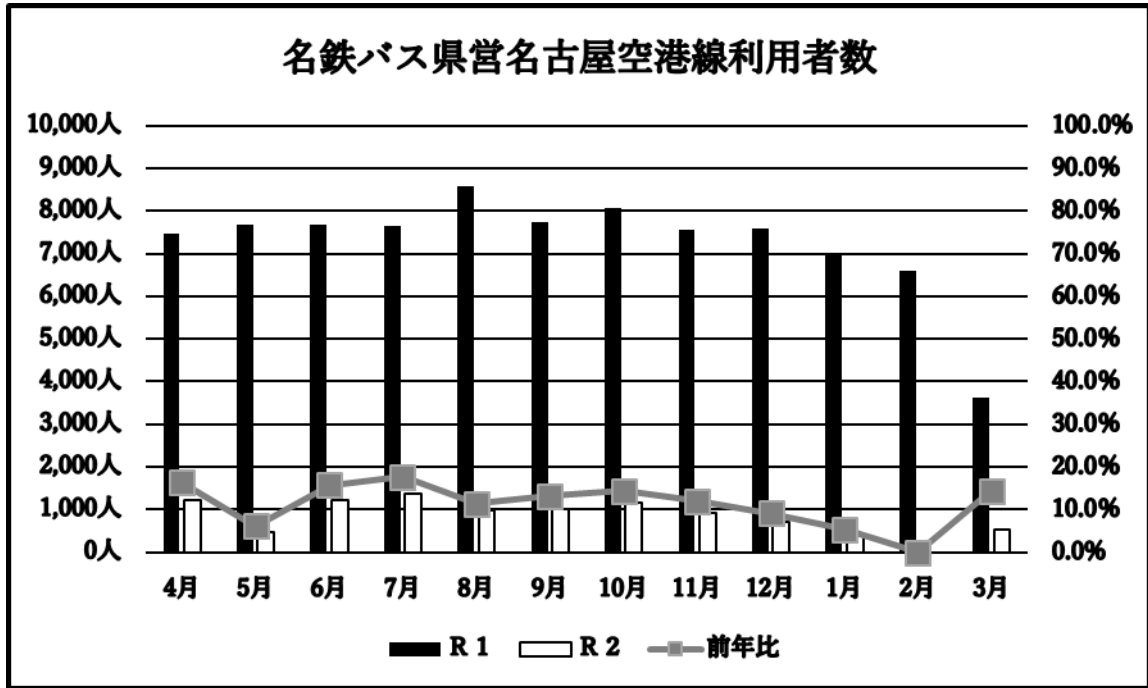
その後、第3波の影響を受けた令和3年1月、2月に減少傾向にあったが、令和3年3月は前年比約90%と回復している。



#### ② 県営名古屋空港線

感染第1波の時期とされている令和2年5月は約500人で前年比6.1%となっている。

6月以降は、各月の利用者数も1,000人前後と横ばいで推移していたが、第3波の時期とされている令和2年12月から緊急事態宣言の発令されていた令和3年1月、2月は再び減少している。なお、令和3年2月は緊急事態宣言の影響により、運休中であつたため前年比0%となっている。

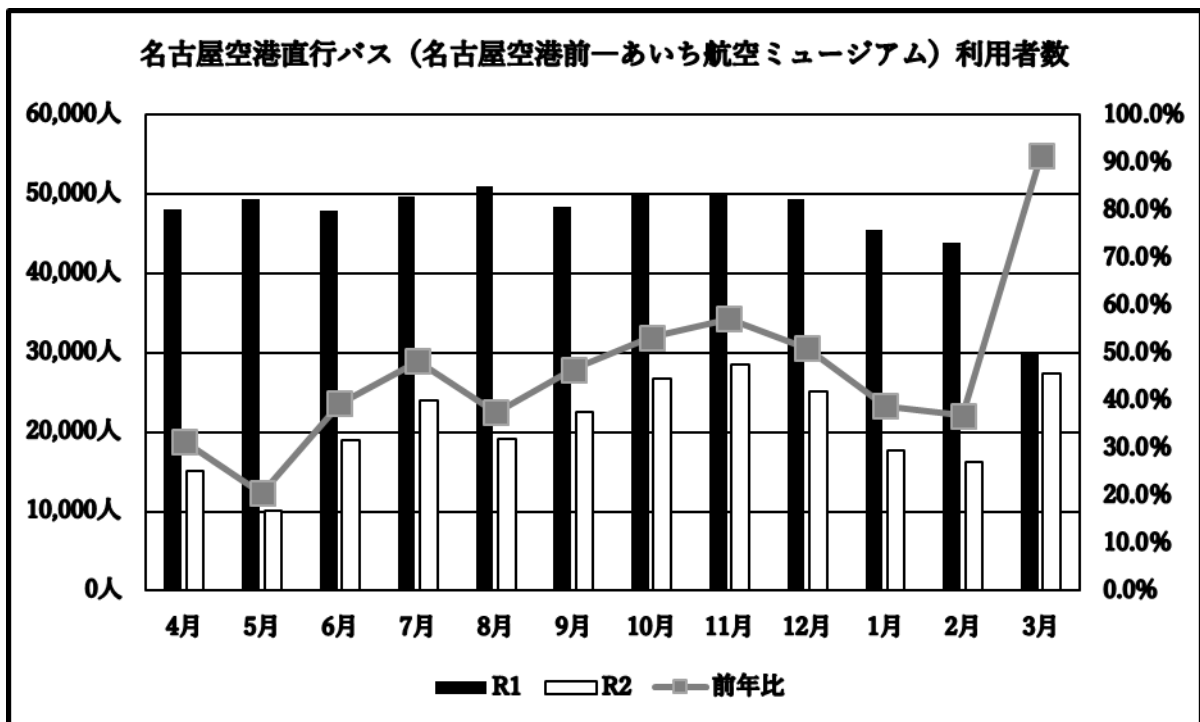


(2) あおい交通

① 名古屋空港直行バス（名古屋駅—あいち航空ミュージアム間）

感染第1波の時期とされている令和2年5月は前年比20.5%と最も低く、10,115人となっている。また、第2波の時期とされている令和2年8月には前年比39.4%の18,934人となっている。

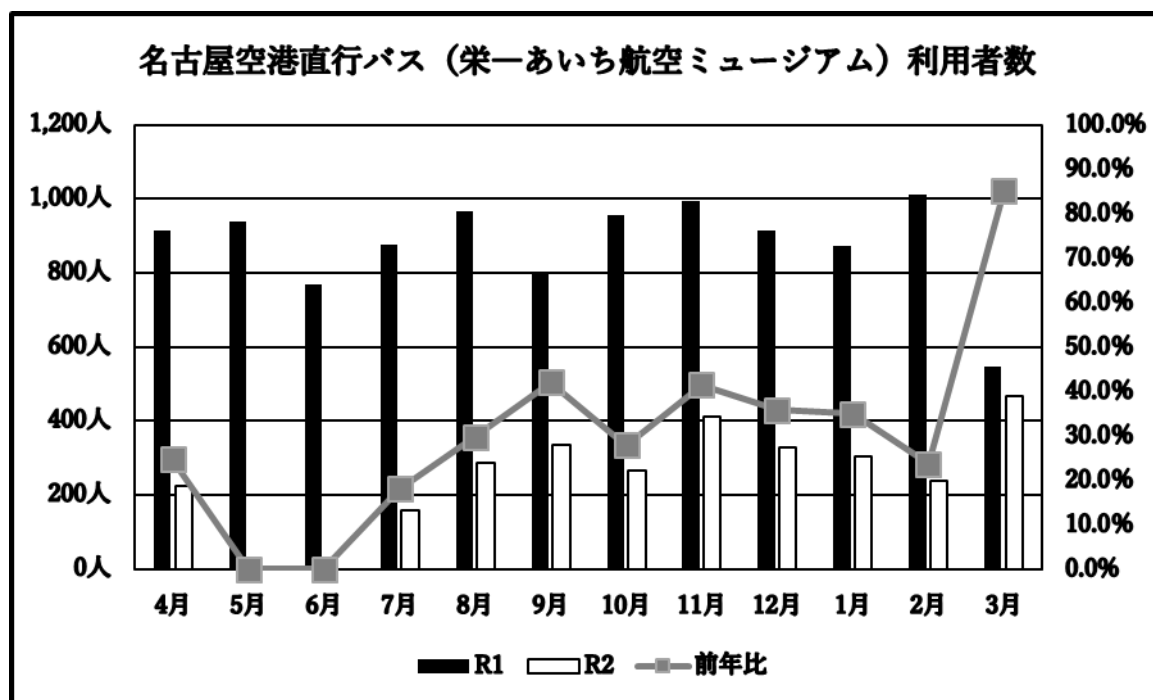
9月以降は増加傾向にあったが、緊急事態宣言が発令されていた令和3年1月、2月にかけて再び減少している。令和3年3月には前年比91.4%の27,438人と回復している。



② 名古屋空港直行バス（栄ーあいち航空ミュージアム間）

感染第1波の影響により令和2年5月、6月は運休していたため前年比0%となっている。

7月の運行再開以降は利用者数も回復傾向にあったが、緊急事態宣言の発令中であった令和3年1月、2月は再度減少している。令和3年3月は前年比85%の466人となっている。



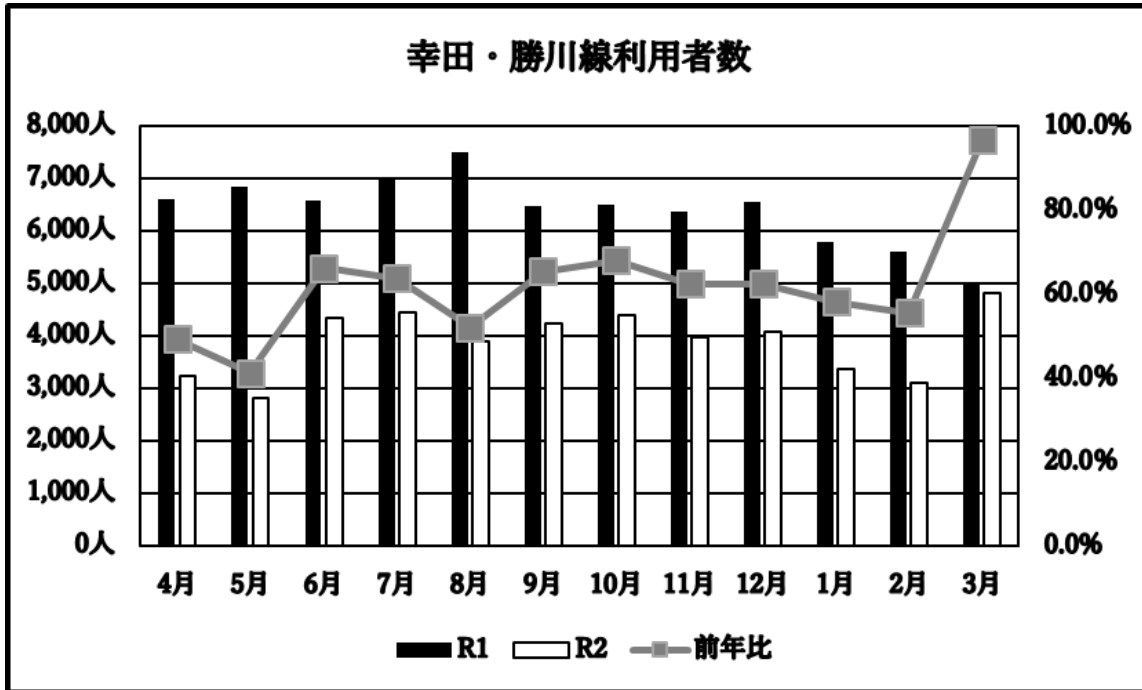
③ 幸田・勝川線

感染第1波の時期とされている令和2年5月は前年比41.1%と最も低く、2,807人となっている。

また、6月以降の各月利用者数は4,000人前後と横ばいで推移し、GoToキャンペーンなどの経済再生策により回復傾向にあり、前年比の約60%となっている。

令和3年1月、2月は新型コロナウイルス感染症の影響の拡大により緊急事態宣言が発令され、減少に転じた。

令和3年3月の利用者数は前年比96.6%の4,803人までに回復している。

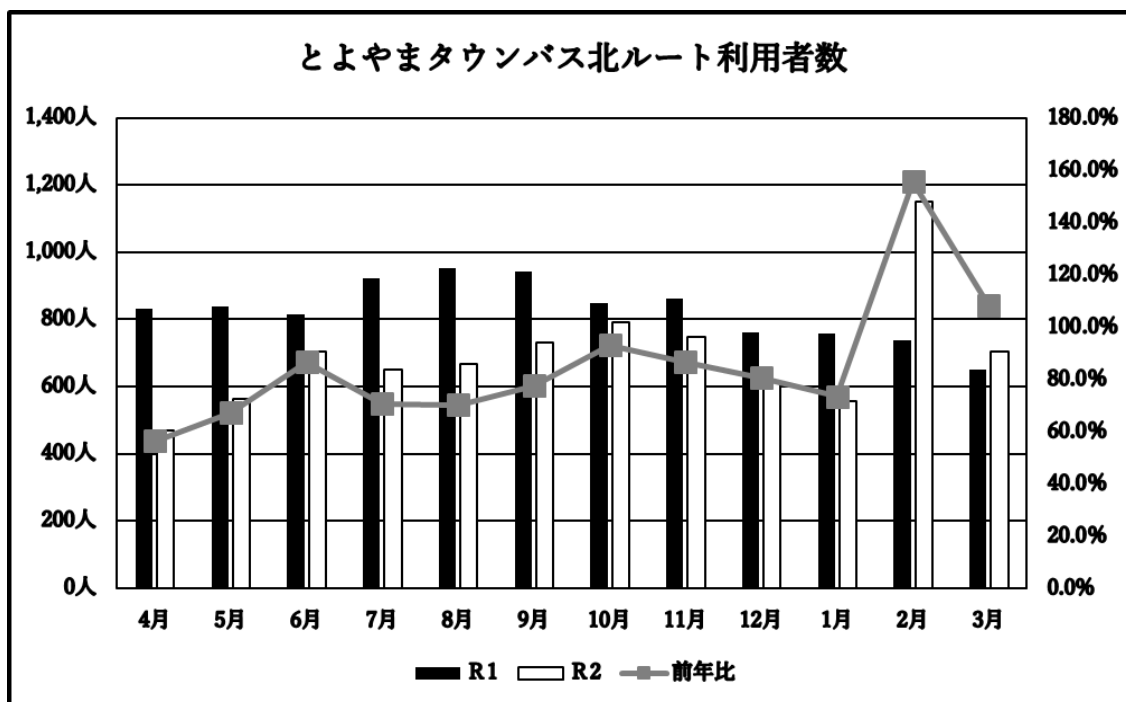


### (3) とよやまタウンバス

#### ① 北ルート

令和2年4月は前年比56.4%と最も低く、469人となっている。

6月以降は、利用者数も回復傾向にあったが、第2波の時期とされている令和2年8月や、第3波の時期とされている12月、1月は、再度減少傾向に転じている。また、令和3年2月、3月は利用者数が前年比より増加しており、特に令和3年2月の利用者は1,150人で前年比155.6%となっている。

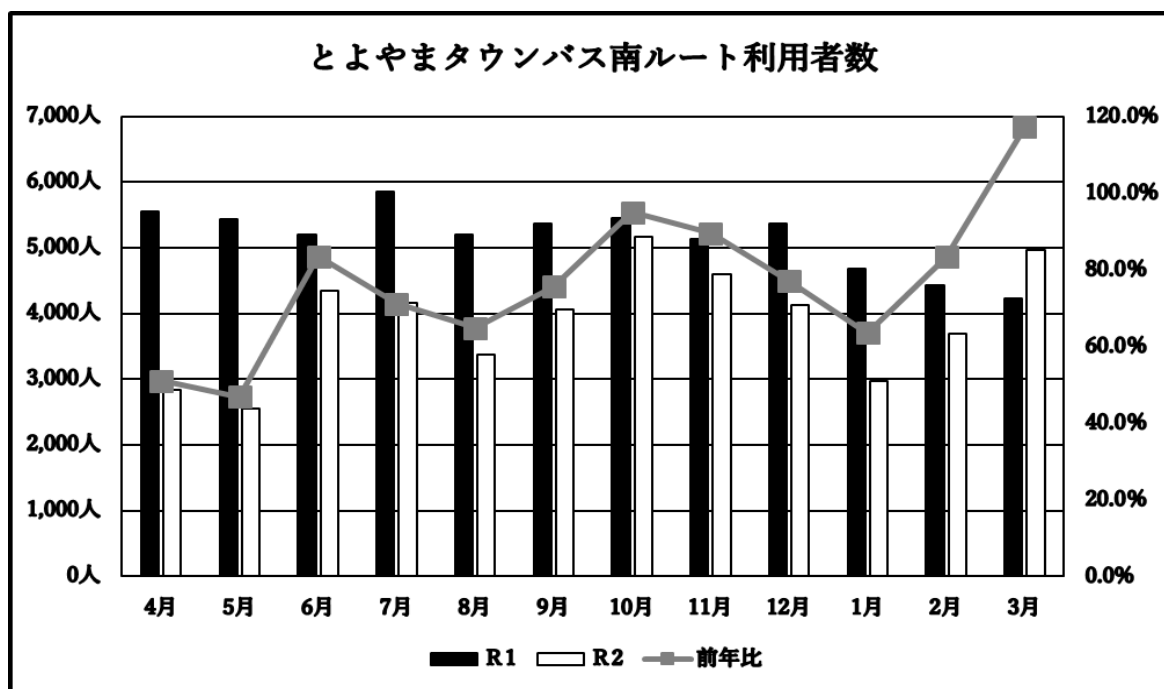


② 南ルート

感染第1波の時期とされている令和2年5月は前年比46.9%と最も低く、2,550人となっている。

6月以降は、利用者数も回復傾向にあったが、緊急事態宣言が発令されていた令和2年8月、令和3年1月は再び減少している。

その後、令和3年2月以降は利用者数が増加し、令和3年3月の利用者は4,962人で、前年比117.3%となっている。

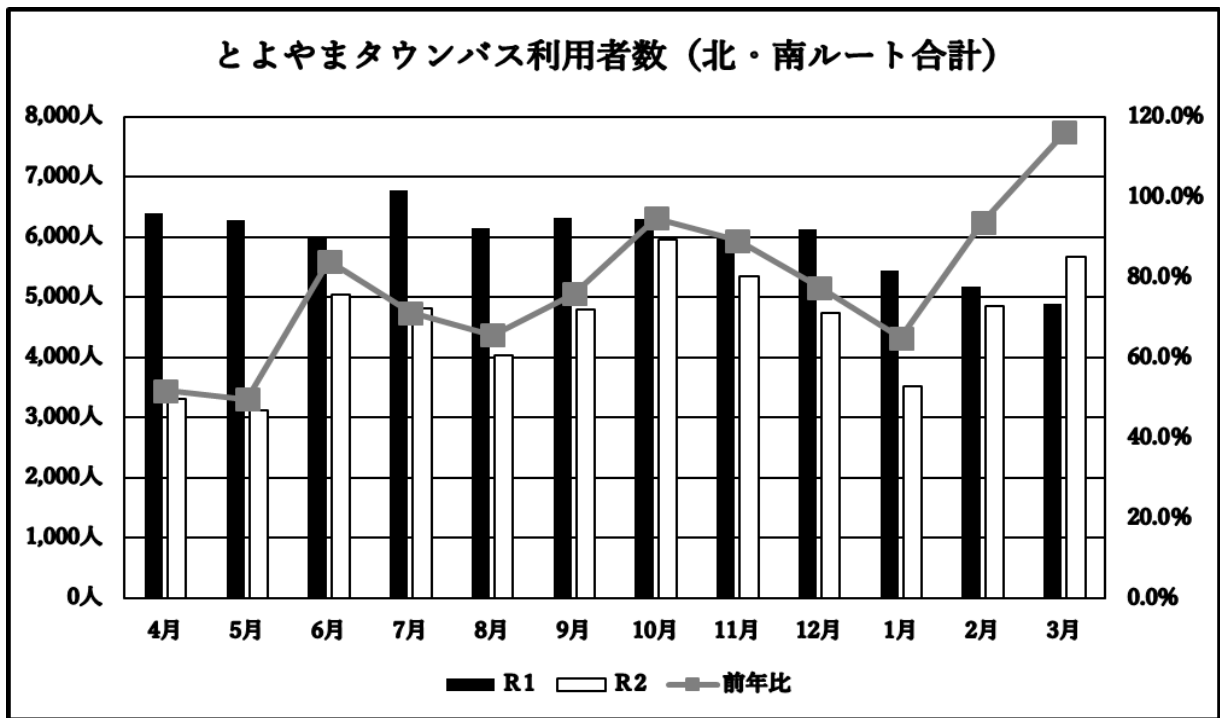


【とよやまタウンバス合計】

感染第1波の時期とされている令和2年5月は前年比49.6%と最も低く、3,113人となっている。

年間を通して、令和2年10月の月別利用者数が最も多く、5,966人となった。緊急事態宣言が発令されていた令和2年4月、5月、8月、令和3年1月は利用者数が減少している傾向にある。

令和3年2月以降は利用者数が増加し、令和3年3月の利用者は5,666人で、前年比の116.1%となっている。



(4) 県営名古屋空港利用者数（FDA、通勤一定期運航）（参考）

感染第1波の時期とされている令和2年5月は前年比1.7%と最も低く、1,383人となっている。

その後、国のGoToキャンペーンなどの経済再生策により、秋以降は利用者数も増加していたが、年間を通して、緊急事態宣言が発令されていた令和2年4月、5月、8月、令和3年1月、2月の利用者数は、減便や運休の影響もあり、減少している。令和2年度の年間利用者数は約340,000人で前年比の約38%であった。

